

図版要項

- 一 普賢延命菩薩像 全身(原色版) 尾道市 持光寺 蔵
- 二 同 全図
- 三 同 頭部(赤外線写真)
- 四 a 同 四天王と四象(赤外線写真)
- b 同 供養銘(絹裏より撮影)
- 五 同 部分(X線写真)
- 六 同 四天王の内 持国・增長天
(赤外線写真)

掛幅装 絹本着色 縦一四九・三cm 横八六・六cm

一―六 柳澤孝「仁平三年銘の持光寺藏普賢延命菩薩絵像」参照

美術研究所報

美術部研究員海外出張

上野アキは大英博物館、ギメ東洋美術館、ベルリン国立博物館、ニューデリー国立博物館所在の中央アジア将来美術品調査のため、連合王国、フランス、ドイツ、インドに出張した(昭和四十一年七月二十六日―九月十九日)。

秋山光和はデ・ヤング美術館主催の東洋美術シンポジウムに出席発表し、各地美術館所在の東洋美術品調査のため、アメリカに出張した(昭和四十一年八月二十七日―九月二十八日)。

関千代はローマ、マドリッド、パリ、ロンドン等の各美術館所蔵絵画調査のため、イタリア、スペイン、フランス、連合王国に出張した(昭和四十二年三月二十二日―四月十二日)。

高田修はベナレスにおけるクシャーン時代美術のシンポジウムに出席発表し、各博物館及び美術遺蹟調査のため、インドに出張した(昭和四十二年九月一日―二十六日)。

川上涇と戸田禎佑とは台北故宮博物院所蔵中国画調査のため、中華民国に出張した(昭和四十二年十月十五日―十一月十三日)。

坂本満はフランス政府技術協力研修給費を受け、主にパリ国立図書館において西洋美術史および西洋版画と日本初期洋風画との交流関係を調査研究するため、一年間の予定を以て昭和四十二年十月三十一日フランスへ出発した。

「高雄曼荼羅」の刊行

美術研究所報告として「高雄曼荼羅」が昭和四十二年三月三十日吉川弘文館より刊行された。執筆者高田修、秋山光和、柳澤孝、神谷栄子。

研究会

昭和四十二年十月四日

秘蔵された鳥取三仏寺蔵王権現像の胎内文書について 猪川 和子
中宮寺本尊の造像法について 久野 健